

## 【K】令和7年度「スポーツ医・科学サポートシステム構築事業」実施要項

### 1 目的

競技者のトレーニングやコーチング及び健康・体力づくりを目的としたスポーツ活動等の現場において、スポーツ医・科学に関する最新の研究成果等を適切に活用できるよう、スポーツ医・科学サポート体制の充実・拡大を図り、競技力の向上と豊かなスポーツライフの形成を支援する。

### 2 補助対象団体

県スポーツ協会加盟団体・準加盟団体（競技団体48団体、地域スポーツ団体40団体）

### 3 補助対象事業

加盟団体等が県内で実施する競技力向上事業や地域スポーツ振興事業等において、スポーツ医・科学の理論に基づく指導、助言を行うため、専門的指導者（サポートスタッフ）を派遣する事業（別紙「活用実践例」参照）

### 4 指定期間

令和7年4月1日から令和8年3月末まで

### 5 希望調査期間

令和7年3月7日（金）から令和7年6月27日（金）まで。

なお、国民スポーツ大会（九州ブロック大会等）に係る帯同ドクター・トレーナー派遣希望調査は、令和7年3月28日（金）を締め切りとする

### 6 補助額

事務局で精査のうえ、決定する。

### 7 補助対象経費

謝金、旅費（交通費・宿泊費）、需用費、役務費、使用料及び賃借料

ただし、派遣に係るサポートスタッフの所属先から派遣先までの旅費及び謝金は、（公財）福岡県スポーツ協会が予算の範囲内で負担する。

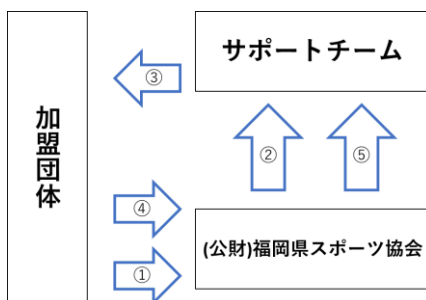
### 8 助成金額

事務局で助成額を決定する。

### 9 各競技団体への補助金の交付決定及び通知について

公益財団法人福岡県スポーツ協会補助金交付要綱による。

### 10 サポートスタッフ派遣手続きの流れ（スキーム図）



#### サポートスタッフ派遣

- ① (加盟団体) 申込書 ……様式29
- ② (県スポーツ協会) 指導を依頼
- ③ (サポートチーム) 専門的指導者派遣
- ④ (加盟団体) 事業報告書 ……様式30
- ⑤ (県スポーツ協会) 謝金等支払い

### 11 留意事項

- (1) 活動を伴う事業実施する場合は、事業前に必ずスポーツ傷害保険に加入すること。
- (2) 帯同ドクター等に係る申請書（様式32）を事業開始1ヶ月前に提出すること。
- (3) 帯同ドクター等に係る報告については、領収書の原本を提出すること。
- (4) 本年度より、押印の取扱いについて、様式32「補助金交付申請書」は、「署名又は記名押印」、様式33-3「謝金領収書」、様式33-4「交通費支払調書」は、「署名又は押印」で事務処理し、様式29「申込書」、様式30「事業報告書」、様式31「帯同ドクター・トレーナー派遣希望調査」、様式33「補助金実績報告書」は、公印（押印）不要で事務処理すること。

## スポーツ医・科学サポートシステム構築事業 活用例

## 派遣対象事業

- 競技団体主催強化事業等
  - ・ 一貫指導体制整備促進事業における指導
  - ・ 国民スポーツ大会選手団研修会における指導
- 郡市体育・スポーツ協会主催事業等
  - ・ 地域スポーツ振興事業における指導
  - ・ 指導者研修会における指導
- 学校体育団体主催事業等
  - ・ 高校総体監督会議等における指導
  - ・ 高校スポーツ充実強化事業における指導
- 国民スポーツ大会等
  - ・ 本部帯同メディカルサポート員の派遣
  - ・ 本部帯同科学サポート員の派遣

## 指導・助言内容

- スポーツ医学領域
  - ・ スポーツ外傷及びスポーツ障害の予防について
  - ・ スポーツ障害後のリハビリテーション及び再発予防について
  - ・ 運動中の熱中症対策について ・ アンチドーピングについて
- スポーツ科学領域
  - ・ 競技特性等に応じたフィジカルトレーニングプログラムの作成と指導について
  - ・ 実力発揮のためのメンタルトレーニングについて
  - ・ 画像によるスキルアップ（技術クリニック）のための動作分析について
  - ・ 健康・体力づくりのための運動処方について
  - ・ 試合期に向けたコンディションの整え方について
- スポーツ栄養領域
  - ・ トレーニングの内容に応じた食生活について
  - ・ 試合に向けた食生活、食事について
  - ・ サプリメントの摂取法について
- スポーツマネジメント領域
  - ・ 映像等によるゲーム分析・戦術分析の方法について
  - ・ 組織運営及び競技力向上のためのチームマネジメントについて